

集落対策の基本戦略(案)の 考え方について

令和5年8月7日

目指すべき姿と集落対策の基本戦略の考え方

〔目指すべき姿〕

里山・里海に象徴される人と自然が作り出す中山間地域ならではの資産が、
守るべき価値あるものとして、内外の人々により引き継がれる中で、
**地域への愛着と誇りの高まりが、将来への希望と安心につながり、
心豊かに、笑顔で幸せな生活を営むことができる中山間地域**

(R5.6.2 第1回検討会議 資料5 P2)

〔集落対策の基本戦略の考え方〕

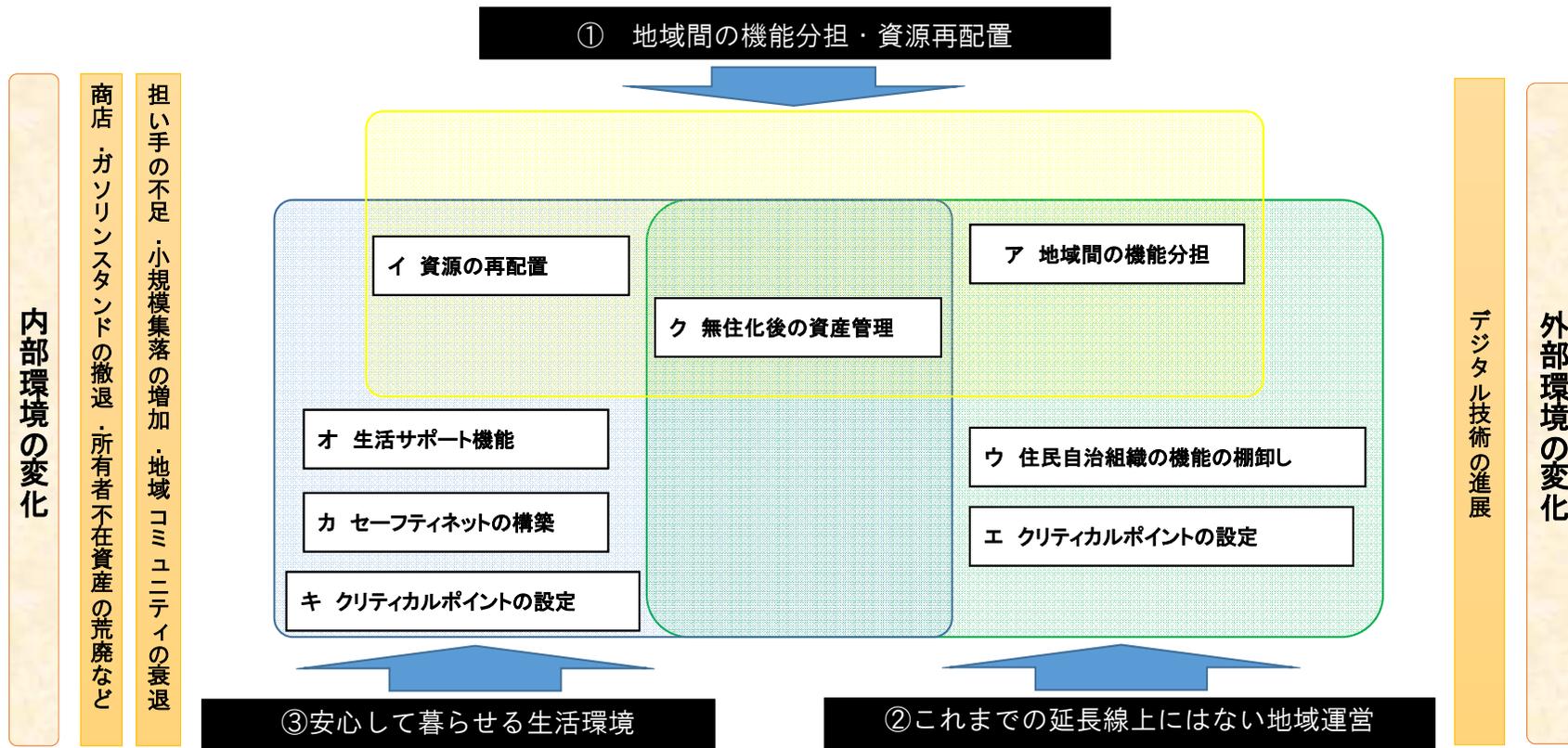
概ね30年後の中山間地域の厳しい姿を現実として受け止め、
そうした中にもあっても、一人一人が安心して暮らし続けるための、
向こう10年を目途とする取組

(R5.6.2 第1回検討会議 資料5 P2)

基本戦略の組み立て方(案)

- 協力2町(安芸太田町及び神石高原町)における先行調査の状況を踏まえ、第1回検討会議(6月2日)資料5 P3「検討の柱(①~③)と事前にいただいた意見等」(下図)を加除修正する(次頁)。

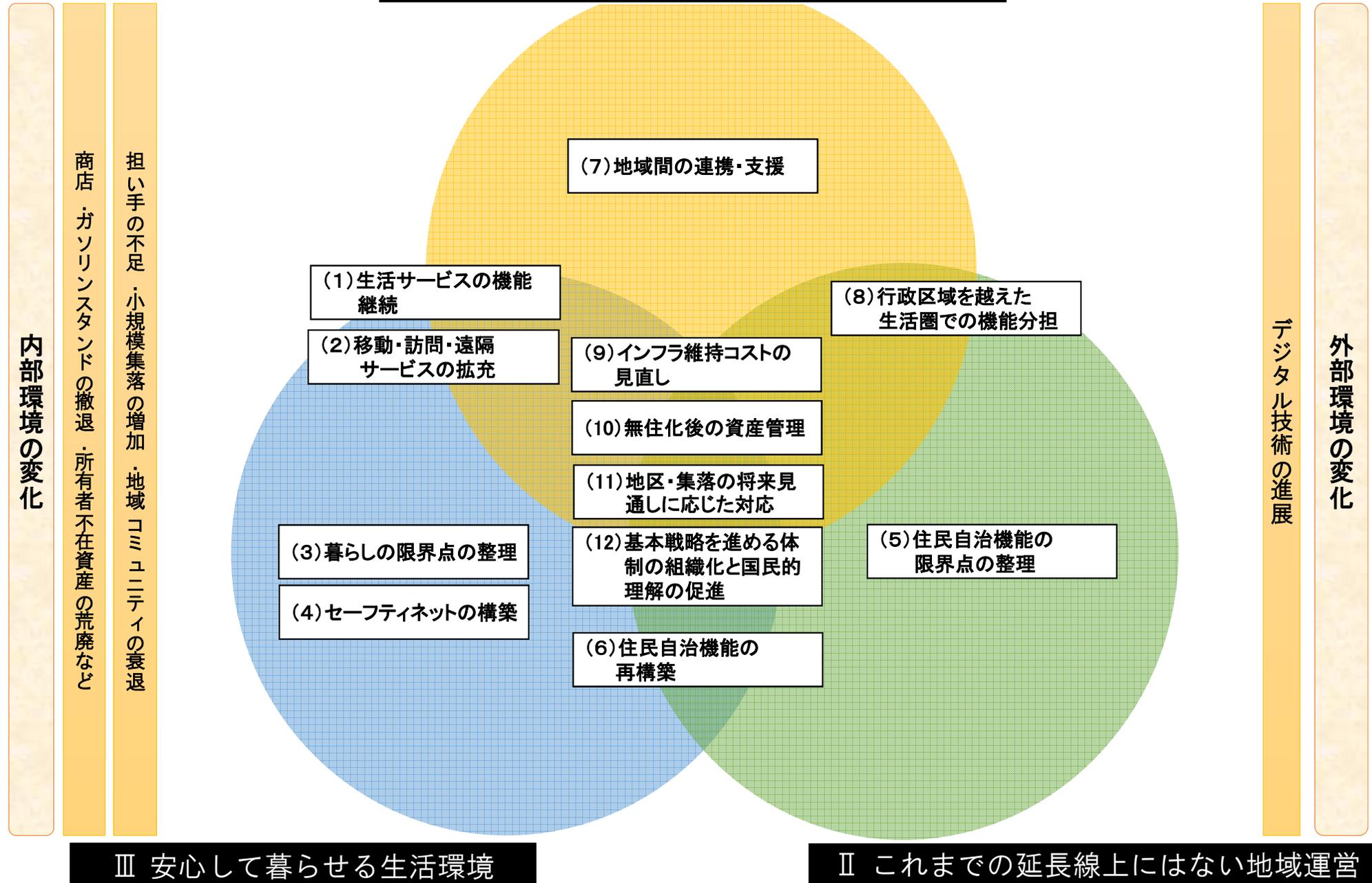
(図) 第1回検討会議 資料5 P3「検討の柱(①~③)と事前にいただいた意見等」 (見直し前)



2. 地区・集落調査の結果を受けて見直した基本戦略の構造について

■ 検討の柱（Ⅰ～Ⅲ）と基本戦略の構造（見直し後）

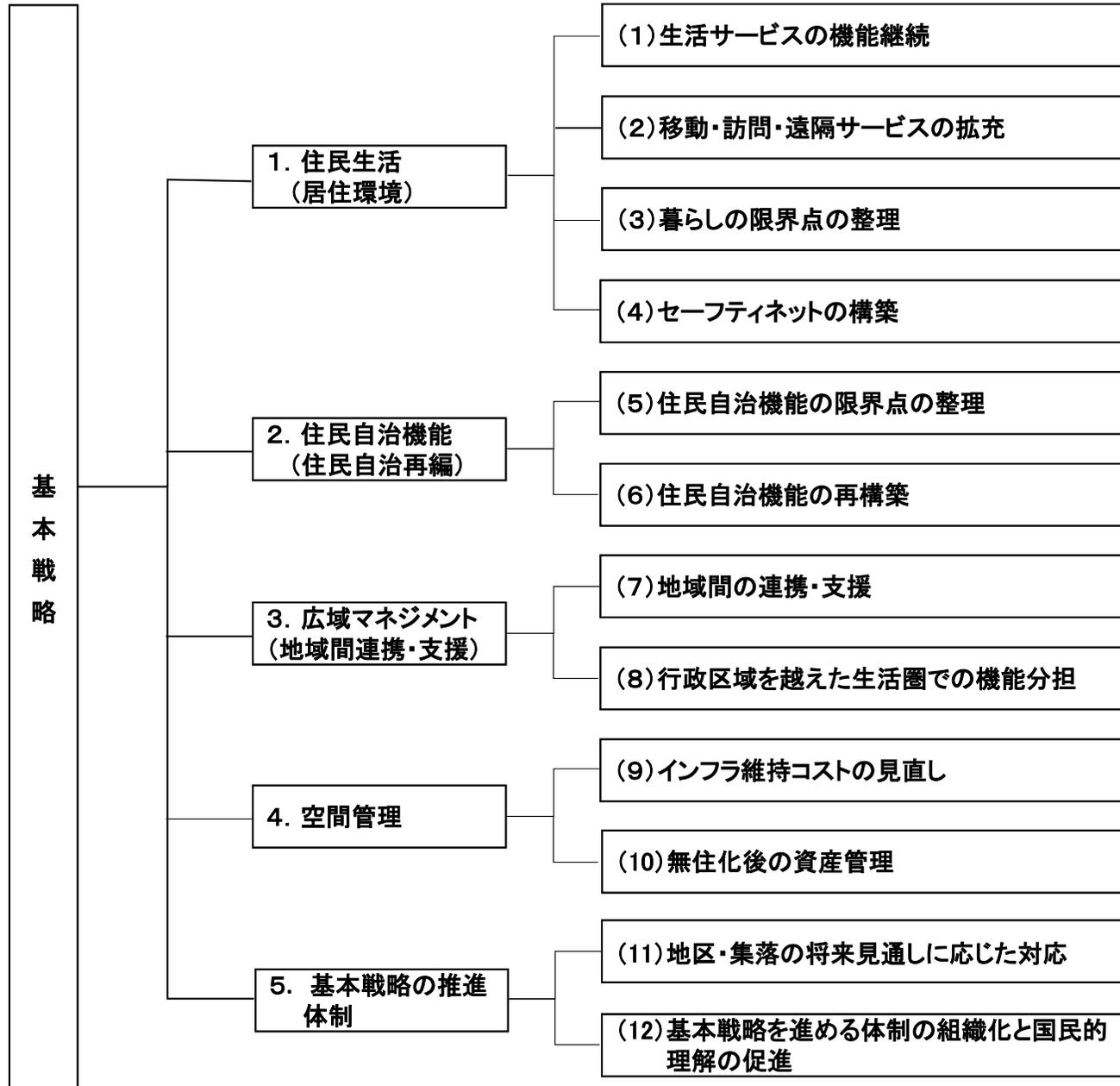
Ⅰ 地域間の機能分担・資源再配置



基本戦略の体系化

基本戦略
の考え方

一人一人が安心して暮らし続けるための
向こう10年間の目途とする取組み



基本戦略分類
(※検討の柱による)

I	II	III
○		○
○		○
		○
		○
	○	
	○	○
○		
○	○	
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○